

子どもの「わかった」「できた」を大切にする授業づくり

《めざす子ども像》 『自立して共に生きる子ども』

- ◇学習の構え（身構え・気構え・物構え）&学習規律の徹底
- ◇ICT機器の効果的な活用
- ◇発話（発問・指示・説明）の吟味
- ◇構造的な板書
- ◇ノート指導の充実

導入



・【1時間のめあての提示】

- ・学習の意欲化を図る
- ・既習事項を振り返る（前時・家庭学習とのつながり）
- ・授業のめあてを明確にする



展開

・【考える・練り合う】

- ・めあてに照らして、既習事項をもとに考える
- ・考えの根拠や理由をはっきりさせる
- ・言語活動（話す・聞く・書く）の充実を図る
- ・絵・図・表を使ってわかりやすく伝える
- ・自分と友達の考えを比べる
- ・個・ペア・グループ・班等の学習形態を工夫・活用する



終末

・【1時間のまとめ】

- ・わかったことをまとめる
- ・定着を図る（適用・発展問題）
- ・授業を振り返る（自己評価）



・【次時のつながり】

- ・次時の学習を確認する
- ・本時と次時のつながりを意識した課題・宿題（家庭学習）を提示する

